

【山崎主宰の俳句】

紙の舟

山崎 聰

断酒など思いもよらず神迎え

大道芸帰りてからの鴈日和

雪野雪山時代あらあらと過ぎぬ

太初から陽は燦々と去年今年

風景のうしろの景も初明り

人の日のやわらかき朝とりけもの

ものを言わねば透明になる寒暮

正月というはさびしき紙の舟

身に覚えなし列島に寒気団

すこしずつ話してぐらん雪女